

## サンピットのしろSS新型洗車機導入

燃料課

4月20日、21日に導入キャンペーンを実施しました。この度更新導入した洗車機はあきた白神管内でも最新鋭の機種で、従来よりも仕上がりがスピーディーとなり洗車中の待ち時間が大幅に短縮されました。また、ガラスコーティングまで仕上げてくれるのが当機種最大の特徴。

これらを聞きつけたお客様が、青空の下キャンペーン開始前から洗車機の前に並び始めたため、予定した時間よりも30分早くキャンペーンを開始しました。

利用者からは「前よりも仕上がり早く感じた。」「ワックスの効き具合が良い。」とご満悦の様子でした。キャンペーンは終日車列が途切れることなく大盛況に終わりました。



キャンペーン中 218 台が洗車機をご利用



新たな栽培技法の取り込みを目論む

## 部会員の情報共有を大事に一致団結

アスパラガス部会

アスパラガス部会（大塚剛志部会長）による実績検討会並びに総会は4月12日に開催されました。大塚部会長は「昨年度は天候に左右された厳しい年であった。今年度は新しい薬剤も活用し、その情報を共有しながら安定した収量を確保したい。また、部会員にはこれから出来るだけ多くの定植を頑張ってほしい。」とあいさつ。

次年度事業計画では、参加した部会員から「半促成栽培の技法を学びたい。」といった意見が出され、その技法を学ぶための研修を事業計画に盛り込みました。

部会員の生産意欲の高さに改めて感銘を受け、本年度のアスパラガス部会のご活躍を期待したいです。

## 作付面積の維持・拡大、収穫量の増大を目指す 山うど部会

山うど部会（桜田和浩部会長）による通常総会が4月16日に開催し、部会員17名の参加のもと、平成30年度事業報告や次年度計画、役員改選等について協議しました。

桜田部会長は毎年続く生産者数、出荷量の微減傾向にふれ「部会内でも指導体制を図り、当地区の伝統野菜である白神山うどの栽培を持続していきたい。」とあいさつ。

総会終了後、行政、市場関係者等を招き開催された販売実績検討会では、情勢報告で市場関係者から「白神山うどの品質は毎年高く評価されている。量販店の指定席も確保している。JAと部会員が一丸となって更なる飛躍を期待する。」と話しました。



部会内で意識の統一が図られた



園芸メガ団地連絡協議会の高橋会長も同席し、農家目線の意見を述べる

## 他県からの視察続々

白神ねぎ20億販売達成プロジェクト

昨年度販売額15億円に到達した主力品目の一つ「白神ねぎ」。その功績の一躍を担い「白神ねぎ」の情報発信の拠点として整備された「白神ねぎ」園芸メガ団地に、新潟県農林水産部参事、新潟県中央会会長等7名が4月10日視察に訪れました。

組合長が当組合の園芸振興の取り組みについて概況説明したところ、視察団はその取り組み内容について感心しておりました。

県内外からの視察団は月2つ以上訪れるとのこと。営農部長は「これからも視察を断ることはない。視察を受け入れることで県内外に「白神ねぎ」の名がコマーシャルされる。」と、「白神ねぎ」の更なるブランド化、知名度向上に今年度も抜かりはありません。